

研究協力のお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

脳血管撮影および脳血管内治療における脳血管内手術支援 AI ソフトウェアの有効性に関する後方視的検討		
1. 研究の対象および研究対象期間		
2023年12月1日から2028年3月31日に昭和大学病院で脳血管撮影あるいは脳血管内治療を施行された患者さん		
2. 研究目的・方法		
脳血管疾患に対する検査のひとつに脳血管撮影が挙げられます。脳血管撮影は、診断用カテーテルを目的とする血管に誘導し、造影剤を用いて撮影を行い、脳血管疾患の評価を行うものです。脳血管撮影で得られた情報をもとに、脳動脈瘤やシャント性疾患、頭蓋内外動脈狭窄や急性期脳梗塞など様々な脳血管疾患に対して脳血管内治療が行われています。脳血管撮影や脳血管内治療では、ガイドワイヤーやカテーテル、コイルや塞栓物質など複数のデバイスの位置や動きを同時に把握する必要があり、特に脳血管内治療では助手や技師などのチームの協力が不可欠です。		
近年、人工知能(Artificial intelligence: AI)の発展が目覚ましく、医療分野においてもAIの応用が期待されています。当院では脳血管撮影や脳血管内治療の透視画像をリアルタイムに解析して通知する脳血管内治療支援 AI ソフトウェアを導入しています。本ソフトウェアによる支援の下で脳血管撮影や脳血管内治療を行い、録画された動画を用いて有用性や安全性について評価することを本研究の目的とします。		
3. 研究期間		
昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2028年12月31日まで		
4. 研究に用いる試料・情報の種類		
患者さんの年齢、性別、診断名、画像検査(CT、MRI、血管撮影)、脳血管内治療動画、治療内容、穿刺部位、検査や治療に使用したデバイス名		
5. 外部への試料・情報の提供		
該当いたしません		
6. 研究組織		
研究責任者	昭和大学病院脳神経外科	松田芳和
研究分担者	昭和大学病院脳神経外科	廣瀬瑛介

昭和大学病院脳神経外科	相浦遼
昭和大学病院脳神経外科	高野駿
昭和大学病院脳神経外科	三鬼侑真
昭和大学病院脳神経外科	水谷徹

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院 氏名：廣瀬瑛介

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8605